

東川町と写真の紹介

東川町役場の協力のもと、レターパックという日常的なツールを媒介としてすることで、町民の「東川町への想い」が自然に表出し、「東川町に想いを寄せる人が、大切な誰かにその魅力を届ける」という、従来の広告では得られない効果が期待されます。

本デザインは、東川町のオフィシャルパートナー企業である東京カメラ部株式会社の協力により制作されたもので、使用されている写真は東川町在住の写真家・井上浩輝氏によるものです。美しい東川町の風景が丁寧に切り取られ、封筒という日常的なツールを通じて、その魅力を全国に届けることが可能となっています。

北海道のほぼ中央部に位置する東川町は、中核都市である旭川市と隣り合う、自然豊かな町です。

町は東西に長く伸び、東西約36.1km、南北約8.2kmという細長い形をしています。その東側には、日本最大の自然公園である大雪山国立公園が広がり、同公園内には北海道の最高峰、大雪山連峰の主峰・旭岳（標高2,291m）がそびえ、美しい自然景観と豊かな森林資源が高く評価されています。

また、東川町は四季の変化が非常に鮮やかで、旭岳温泉や天人峡温泉周辺では、新緑の輝く森林、愛らしい高山植物の花々、色彩豊かな紅葉、一面に広がる雪景色など、四季折々に趣深い景色が生まれています。

特筆すべきことに、この町では全ての町民が大雪山の伏流水（地下水）を利用して暮らしています。北海道内では唯一、全国でも数少ない上水道のない町であり、自然の恵みを直接享受しながら人々の暮らしが営まれているのです。

写真家・井上浩輝氏のキャプション

「東川町の風景がまぶしくなるのは、白銀の雪景色の季節と黃金色のじゅうたんを敷き詰めたような豊穣の季節。水の恵みを求める人々が集う町でもある。」



©Hiroki Inoue

※ 町内が見渡せる上空写真は、東川町のキトウシ森林公园からドローンで空撮された写真です。